

学校と家庭と地域を結ぶ
香深井小学校 学校だより

カフカイ



第214号

発行: 香深井小学校
発行日: H26. 12. 22
発行責任者: 本間正博
Tel 86-1926

校風
思いやり



子どもたちのがんばり、 保護者・地域の方の支援に感謝!

校長 本間 正博

約四ヶ月にわたる二学期が終わり、子どもたちが楽しみにしている冬休みがやってきます。この二学期は、香小の子どもたちがいろいろな場面で活躍し成長できたと思います。そして、子どもたちを励まし、支えてくれた保護者・地域の方々の熱い想いに触れた二学期でした。

文化・スポーツ、そして自治の力が育ってきました

六年生を先頭に、九人の子どもたちがいろいろな場面で力を出し切っていました。学芸会やはちまる交流祭などで踊りや太鼓、合唱・器楽など、力を合わせて精一杯表現することができました。また、絵画や書道、そして版画作りなどそれぞれの持ち味を活かしながら最後までいいいに作品作りに励んでいました。スポーツでは、陸上記録会やフットサル大会でのがんばりが光りました。普段の勉強では、目標に向かってコツコツ努力する姿が見られ、その成果も出てきているところです。児童会活動では、書記局が「あいさつ運動」を展開したり、二つの委員会が全校で楽しめる活動を工夫するなど取り組みました。

子どもを支え励ます保護者のがんばり

このように子どもたちが活躍したり、成長できたのは、励まし支えてくれる親のがんばりがあるからです。学芸会でのPTAの踊りの出演、フットサルのサポートなど、子どもたちの行事を応援してくれたり、練習を手伝ってくれたり、都合がつく限り参加してくれることで、子どもたちへとても励まされています。我が子だけではなく、香小の子どもたちみんなを見守る大人の役割が発揮されています。

子どもと学校を支えている地域の力

二学期は地域の方々の力が子どもたちと学校を支えてくれました。夏の盆踊り、学芸会、もちつき会等に地域の方がたくさんかけつけ、子どもたちを応援してくれました。また、一学期にひきつづき、礼文学の授業を中心に講師を引き受けて頂いています。「地域の先輩」から直接学ぶ体験は、子どもたちにとって、素敵な大人の存在を身近に感じることができ、貴重な時間です。

今年の香小のテーマは「つながる」です。子どものがんばりを支える保護者・地域の力をつながっていくのが学校のがんばりどころです。三学期、そして新年度もそのことを大切にすすめていきます。

香小「もちつき会」で たくさん笑顔が ありました

12月7日、伝統のもちつき会を体育館で行いました。朝から、子どもたち、保護者、教職員、そして地域の方にお手伝いをしていただき、たくさんの餅をつくことができました。



昼からは、6チームで百人一首を楽しみました。



H27/1月の行事予定

- 1日(日) 元旦(新しい年の始まりです)
 - 11日(土) 礼文町成人式
 - 16日(金) 漢字検定(香深井小会場)
 - 19日(月) 定例職員会議
 - 20日(火) 3学期始業式(1校時)
スキー授業①(2~4校時)
フットサル練習
 - 22日(木) フットサル練習
 - 23日(金) 冬休み自由研究発表会
 - 25日(日) 子ども会かるた大会
 - 26日(月) 全校朝会 後期委員会
 - 27日(火) スキー授業② ALT
フットサル練習
 - 28日(水) フットサル練習
 - 29日(木) 日本習字
 - 30日(金) 香深地区連携教育研究会(香小)
フットサル練習
 - 31日(土) 公開礼文検定③
- ※ロータリー杯フットサル大会(2月1日)



今年の「礼文学」のしめくりが、来年に向けてのスタートに 全校で昆布の巻き付け作業を体験!

12日、長谷川好美さん・百瀬自行さんを講師に、養殖昆布の巻き付け作業を全校で体験しました。昨年12月には、5・6年生ががんばって巻き付け作業を初体験。長谷川さんが、その昆布(ロープ1本分)を香深井漁港の海に入れて頂き、今年の6月に香小生全員で引き揚げ、昆布干しを行いました。今回は、全校で巻き付けから取り組むことになりました。

6年生は少し手慣れた様子で作業に取りかかり、5年生以下もがんばって作業をしていました。長谷川さん、百瀬さんには大変お世話になりました。



話をしっかり聞いてから作業開始!